十島村教育委員会だより 令和4年4月号

TO CONTINUE TO SEE THE PERSON OF THE PERSON

南北160km 「心をつなぎ 気概に満ちた」十島の教育 十島村教育委員会 〒892-0822鹿児島市泉町13番13号 TEL 099-227-9771

【新たな出会いの春4月】

教育長 木户 浩

さて、4月1日の午後から、校長先生と教頭 先生の辞令交付式と宣誓式を役場で行いました。 肥後村長からも激励の言葉を賜りました。その 後、新規採用の2人の先生方の辞令交付式と宣 誓式も行いました。昨年に引き続き、コロナ感 染症対策のため、一般の先生方の着任届と宣誓 書は各学校で校長先生に提出してもらいました。

4月1日に、新しく赴任される先生方や山海留学生の児童生徒が十島村に向かう予定でしたが、出航は荒天のため2日に延期になりました。先生方28人、新しい山海留学生16人がこの船でそれぞれの島に向かいました。私もこの船で、各島での赴任の様子や出迎えの様子を見守っていきました。

夜が明けきれない中で、口之島に到着すると、 水銀灯に照らし出された北緯30°線の壁画があ る岸壁前で、出迎え式を行ってくれました。よ うやく明るくなり始めた中之島では、船の到着 前から威勢のよい太鼓演奏が響き渡っていまし た。1人の先生の出迎えのために、全校児童が 法被をまとい、元気よく出迎えてくれました。 諏訪之瀬島では、到着目前に御岳が歓迎の噴煙 を上げていました。大きな横断幕を広げて、到 着した先生方を出迎えてくれました。平島では、 横断幕と名前を記入したプラカードを掲げ、先 生方や島民の方々が歓迎してくださいました。 悪石島では、岸壁のボゼの壁画の前で、法被姿 の子どもたちがよさこいソーランを元気よく踊 って歓迎してくれました。ここら辺りから小雨 も振り出し、傘の花も咲き始めました。小宝島 でも、岸壁の楽しそうな魚釣りの壁画の前で、 子どもたちや先生方が、笑顔で歓迎してくださ いました。宝島では、あの大きな壁画が目の前 に飛び込んできて、赴任される先生方もびっく りされていました。待合室前に横断幕を掲げ、 全校児童・生徒と教職員、住民の方々が出迎え てくださいました。それぞれの島で心のこもっ た出迎えをしていただき、転入教職員や山海留 学生の児童・生徒も安心できたと思います。

これからは同じ島民として1日も早く、島での 生活に慣れて、皆さんと一緒に地域のでよろしく、 馴染んでいくことと思います。どうぞよろしく、 願いいたします。そういう思いを込めながら、 美まで向かい、夜の船で鹿児島に向かいました。 マスクを着けての日常が続いています。それぞれの島で工夫して、新しく赴任した教職員や家族、 山海留学生の児童・生徒の紹介を行うように、校

長先生方にお願いしてあります。マスクを外した"顔を覚えていただけると幸いです。 今年度も「さわやかトカラ情報」を村内にお配りします。 御一読をお願いいたします。



令和4年度転入教職員宣誓式

4月1日(月)午前10時、十島村役場4階大会議室で転入教職員宣誓式が開催されました。 肥後村長、木戸教育長の激励の言葉の後、転入 教職員を代表して、諏訪之瀬島小・中学校の弓場校長が、「子どもたちは島の宝。困難な世の中を乗り越えていく力を身に付けさせたい。」と力強く決意を述べられました。

コロナ禍の中ですが、子どもたちの待つ学校 へ赴任する意欲が感じられました。

令和4年度は、児童生徒数が96人、教職員 数は68人です。感染防止のために、赴任され

る校長先生・教頭先生と新規 採用の先生と2部に分かれて 実施いたしました。今年度も 新しい先生方の力で、子ども たちを輝かせてくれると期待 できる宣誓式となりました。



トカラの「歩き方」(6月15日まで)

鹿児島県立博物館で、「トカラの歩き方」が開催

されています。感染対策に配 慮していただきなから、ぜひ ご覧ください。

担当の久保学芸主事のに開催の意図や見所をお聞きしました。博物館と十島村とは、

とても関係が深いこと、十島への 思いを熱く語っていただきました。



パンフレットはQRコード→ スマホで検索できます。 【新聞に投稿 十島への思い】 (令和4年2月26日南日本新聞「若い目」掲載) 東京都江戸川区立南葛西第2小6年 川嶋 汐里

らぺのれめにきはいがにでりし達た島学 にッ関かなもり、たつき泳またとで村生私 トわらけどがそのいれごす。山すのには れずり中れっあうでたいう。しで、宝な東 いトを学ばたり思す大でとそか遊水島り京 `い後まい°量し出れしび泳小まの しがび高けでせま「のたかは、まのにす小た流いたためない。 いとい外 。た ッけまごつた業学小校 いれ と進こ国や トれしみだ。はし学に 思学とかがです ボどたでけ宝海て校通 てすにらてす °す残島がい4つ \circ oる気流、が ル砂海。念は教で年で 中がれ留 で浜は夏にと室、生い でつて学い うは、休思てでとのて `きくをく め外いみっも、て一 いの国つにた美放も年こ 私まる終ら 宝そはしこえ拾しくのも友こし課楽間の 島し外たとてっわさラの達とい後しは春 をて国 °を東てたれべよとが島はか `に ^とこ止京もしてルう海あで友っ十中

(令和4年4月19日 南日本新聞「ひろば」掲載)

新保 富子 (伊佐市)

いし島

島

か

界

と校まんはこまのはちもさろ胸まてに念 遠のな ` `とし目 ` ょ生んにがし ` い願宮 い皆ざ先広、たに店っきの真熱た祖くだ崎 地さし生いい。はもと生案新く `な超き内しな港母とた綾 を方海らこ 感`を立れ平くえとをいりででに山町 願島じ何見ちか島信るし受留まは 、よびらが号ぐては要なな海には留くなりしまたど機らいま生た生なしまないました。 いなりしまないました。 いできないできないました。 いできないできない。 あな海に よさい島ができ映あとしたが車人 で民らしんつり聞た。あでの のめず す。の、ょのたまき。寮り五歓夫親に学 元(方寮う不のせょ知工 , 近で代島学気一々監。便かんし民六寮六式で代島学 、り迎婦の十 幸略温寮のつと留 °七は `のあきりの機 あつか母とら思学島十と寮とり添と平に

は今 「はおと「てさ「電 な日 スっりうス いガ車 ご夕が電 プーしかちー て雷 ヤえやし のンは車 小 る車 オしく えずしの がウ 176 さトし た ては投稿時 一た ٧ ま

れ学いさきいい生に人て母こ

(三/十五 南日本新聞子供のうた

揭

願

か

な

た

孫

0

十島村で学ぶ

【 諏訪之瀬島で学ぶ 】 諏訪之瀬島小学校4年 濱田 幸奈

3年生としてすごした一年間で、色々なけいけんをつみ重ねてきた。そして、この一年でぐんと成長したと思う。

とくに成長につながったと思うことは、運動会だ。 みんなと力を合わせて行動することの大切さを知っ た。リレーで一番大切なことは、バトンパスでふた りの息を合わせることだ。玉入れは、投げる人とひ ろってわたす人の連けいプレーが大切だ。相手のこ とを考え、何回も練習した。相手とぶつからずに、 成功した時は、たんにんの先生がほめてくれた。私 は、すごくほこらしい気もちになった。

今年も新しい春がきた。私は、4年生になり、たんにんの先生がかわった。その先生は、笑うのが好きでよく笑う。先生と一緒にいると私は、何でもちょうせんしようと思える。そこで、私は、新しく2つのことにちょうせんしてみたいと思う。

1つ目は、上級生として、下級生の手本となる行動をすることだ。それに、小学校に入学した妹に、良いところを見せたい。そして、下級生が、分からないことを教えてあげたい。

2つ目は、自分の心をみがくことだ。学校に「自分をみがく 共にみがく 未来をきずく」という目標がある。私も目標にあるよう自分の心をみがき、もっと人にやさしくなりたい。これからは、この2つの目標にちょうせんし、たっせいできるようにがんばりたい。

【中之島小・中学校からのメッセージ】 教諭 豊重 裕子

中之島小・中学校に赴任して、早いもので2年が過ぎます。コロナ禍での寂しい異動でしたが、中之島の港で子ども達が「御岳太鼓」で出迎えてくれました。力強い太鼓の音色に勇気づけられ、感動したことを今でも覚えています。

「15の島立ち」のその日まで、地域の方と一緒に子ど も達の成長を見守り、応援していきたいと思います。

『教職員仲間であるあなた』への 私からのメッセージ

まだテレビを通してしかお会いする機会がありませんが、十島ならではの教育を一緒に考えていきましょう。 8月の村教研でお会いできるのを楽しみにしています。